



## レポートに取りかかる前に

レポートとは？ ……1

レポート作成のSTEP ……2

## レポート作成の手順

STEP1 課題の理解 ……3-4

STEP2 情報収集 ……5-7

STEP3 執筆 ……8-11

## 資料紹介

電子ブックについて ……12-13

展示資料リスト ……14-16

# レポート作成 サポート展示

レポート

論文

REPORT SAKUSEI

# レポートとは？



レポートに取りかかる前に

## 作文・感想文との違いについて

レポート	作文・感想文
ある問いに対してその回答を <b>論理立てて</b> 説明すること。	自分が経験したことや読んだ本の内容に対して、 <b>どう感じたか</b> を書くこと。
<b>客観的</b>	<b>主観的</b>
回答の正しさを読み手に <b>納得</b> してもらう	感想の部分を読み手に <b>共感</b> してもらう



# レポート作成のSTEP



レポートに取りかかる前に

大まかに以下のような手順を踏んでレポートを作成します。



次ページから各STEPごとに図書館で利用できるツールを紹介します。▶▶▶

# STEP1 課題の理解



## レポート作成の手順

方法1 事典を調べてその事柄を理解し、関連する項目も読む。



### Web JapanKnowledge Lib

百科事典や専門辞書などが横断検索できるデータベース。関連事項のリンクも豊富に掲載されています。

#### アクセス方法

##### 学外から



クリックするとアクセス方法解が表示されます

##### 学内から

福岡大学図書館ウェブサイト>学生向け調べもののリンク集  
>言葉や事物の意味を調べる>JapanKnowledge Lib



### 冊子

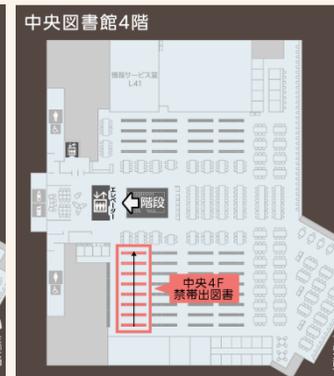
## 辞書・事典類のある場所

各階禁帯出コーナーにあります。



2階…哲学・心理学・歴史  
3階…法学・経済学  
4階…芸術・言語学・文学  
主に上のテーマの事典が並んでいます。

学部学生は貸出ができません。  
館内で利用してください。



# STEP1 課題の理解



## レポート作成の手順

方法2 教科書、新書や入門書を読み、基礎知識を得る。



### 冊子 教科書がある場所

#### シラバスコーナー

教科書や参考書などシラバス掲載の資料が並んでいるコーナーです。



貸出できませんので館内  
でご利用ください。複写  
は可能です。

### 冊子 新書がある場所

#### 新書コーナー

2階新書コーナーにシリーズごとに並んでいます。



### 新書とは

各出版社ごとにシリーズとして一定の形式で出版される図書のことです。様々な専門分野の入門書として刊行されることが多いので、知りたい分野のポイントを押さえるにはぴったりです。

# STEP2 情報収集

## 手順1 各メディアの特徴を知る。

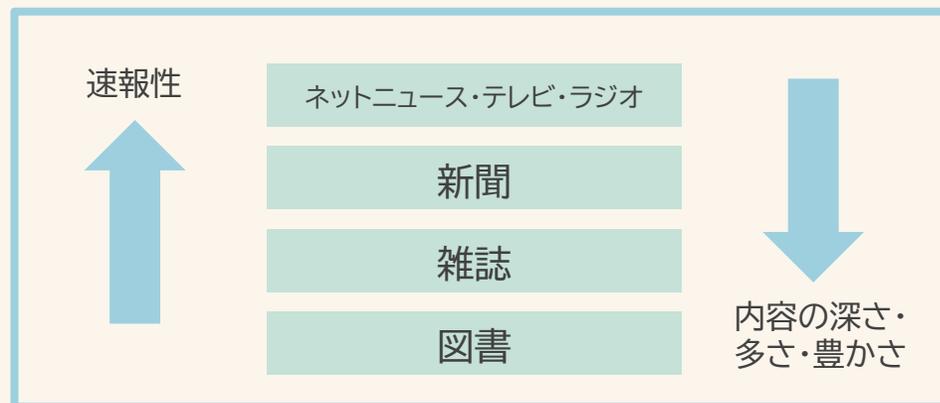


### メディアの特徴

ネット	速報性が高い。情報の真偽、鮮度を確認する必要がある。
テレビ	映像を使ってわかりやすく伝えられる。得たい情報を放送まで待つ必要がある。
新聞	新聞紙面上で複数のニュースを一覧可能。新聞各社に特色がある。
雑誌	専門的知識を持つ著者や編集者によって作られる。まとまった情報が得られる。
図書	編集者が一定の責任を負って編集している。テーマの深掘りに役立つ。

### 情報の鮮度と濃度

情報の鮮度と濃度は右図のように媒体によって違いがあります。自分の欲しい情報や目的に合わせてメディアを選択しましょう。



# STEP2 情報収集

## 手順2 資料を探す方法をマスターする。



### 図書館で資料を探すためのガイド



福岡大学図書館ウェブサイト>図書館活用ガイド

各資料の探し方が掲載されています。

資料の探し方	
図書	<ul style="list-style-type: none"><li>&gt; <a href="#">図書の探し方 (PDF3枚:1.4MB)</a></li><li>&gt; <a href="#">図書の探し方 スライド版 (PDF19枚:3MB)</a></li><li>&gt; <a href="#">図書の予約を行うには (PDF2枚:1MB)</a></li><li>&gt; <a href="#">図書の取り寄せを行うには (PDF2枚:885KB)</a></li></ul>
雑誌	<ul style="list-style-type: none"><li>&gt; <a href="#">雑誌の探し方 (PDF3枚:1.6MB)</a></li><li>&gt; <a href="#">雑誌の探し方 スライド版 (PDF13枚:2MB)</a></li><li>&gt; <a href="#">紀要の探し方 (PDF17枚:2.1MB)</a></li><li>&gt; <a href="#">雑誌記事の探し方 (PDF2枚:1MB)</a></li></ul>
新聞	<ul style="list-style-type: none"><li>&gt; <a href="#">新聞の探し方 (PDF1枚:939KB)</a></li><li>&gt; <a href="#">新聞の探し方 スライド版 (PDF14枚:3.1MB)</a></li><li>&gt; <a href="#">所蔵新聞リスト</a></li></ul>
参考	<ul style="list-style-type: none"><li>&gt; <a href="#">蔵書検索を使いこなそう (詳細検索・ファセット・検索結果詳細画面) (PDF2枚:808KB)</a></li><li>&gt; <a href="#">日本十進分類法 (NDC) 網目表</a></li></ul>

資料の探し方

### 図書館で聞く

LA (ライブラリー・アシスタント) または各カウンタースタッフにおたずねください。



クリックすると「図書館活用ガイド」が表示されます



# STEP2 情報収集

## 手順3 文章の読解方法をマスターする。



### 文章の読解方法が掲載されている資料



クリックすると  
手引きが表示されます

**テキストの重要部分を見抜くための技術**  
第Ⅱ章7 p.20-21

文章の重要なポイントを押さえる方法について書かれています。



各テクニックが、見開き2ページ完結で解説されているので、とても読みやすいです。  
日本語の基礎から、新聞雑誌の読み方、学术论文の読み方まで明快に説明されています。

『読解力の基本：大切なのに、だれも教えてくれない72のテクニック』

速越陽介著 日本実業出版社 2010年



書影をクリックすると  
図書情報が表示されます

**資料を読解しよう**  
第6課 2-2 p.71-73

資料読解のポイントと実際に即した解説が掲載されています。

『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』

近藤裕子, 由井恭子, 春日美穂著  
ひつじ書房 2019年

『福岡大学教育開発支援機構  
「言葉の力」育成の手引き』  
2017年  
【学内限定】



# STEP3 執筆



## レポート作成の手順

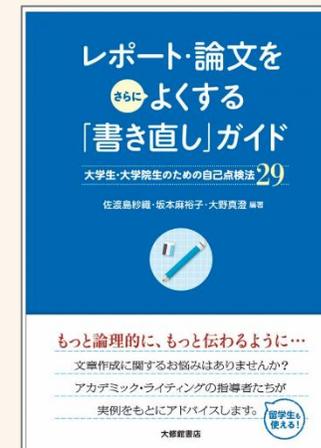
### 手順1 レポートの構成要素を知る。



#### レポートの構成要素

序論	問いとその意義
本論	問いに対する答え (=主張) 答えの根拠 主張・根拠の説明 反論への備え
結論	回答の意義とまとめ

#### レポートの構成について説明されている資料



《序論》《本論》《結論》の構成で書く  
第7章 p.86-89

修正前と修正後のレポート例が掲載されているので、実例から具体的に学べます。また、構成を考える際のチェックポイントも示されています。

『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド』  
佐渡島紗織，坂本麻裕子，大野真澄編著 大修館書店 2015年

福岡大学教育開発支援機構  
『福大生のための学習ナビ2023』p.31-34  
「授業での学び方～レポートの作成～」より



『福大生のための  
学習ナビ2023』

# STEP3 執筆



## レポート作成の手順

### 手順2 レポートのアウトライン（粗筋）を考える。



#### 🚗 アウトラインとは

序論	1. 問題背景 2. 問題提起 3. レポートの目的
本論	4. 主張の裏付け …具体的な資料の引用 5. 資料の解釈 …そこから何が言えるのか 6. 主張 …それが自分の主張とどのようにつながるのか
結論	7. まとめ 8. 今後の課題

↑ アウトライン

『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』  
近藤裕子, 由井恭子, 春日美穂著 2019年より

#### 🚗 アウトラインについて説明されている資料



論文の種としてのアウトライン  
第5章 p.116-160

先生とヘタ夫くんの会話が面白いです。  
あっという間にアウトライン作成の方法が学べます。

『論文の教室：レポートから卒論まで』

戸田山和久著 NHK出版 2022年

# STEP3 執筆

## 手順3 論述



### 論述とは

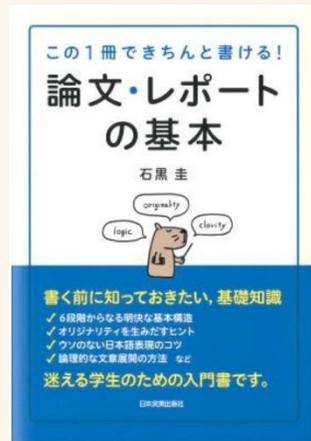
- 1. 問題背景
- 2. 問題提起
- 3. レポートの目的
- 4. 主張の裏付け
- 5. 資料の解釈
- 6. 主張
- 7. まとめ
- 8. 今後の課題

- 具体的な事例1
- 具体的な事例2
- 何が問題か
- 論点の明確化

アウトラインに詳しい説明を加えて本文を膨らませていきます。  
STEP2で収集した資料や先行論文を引用したりしながら自分なりの解釈を加えますが、論点がずれていってしまわないように注意しましょう。

アウトライン

### レポートの文章の書き方が説明されている資料

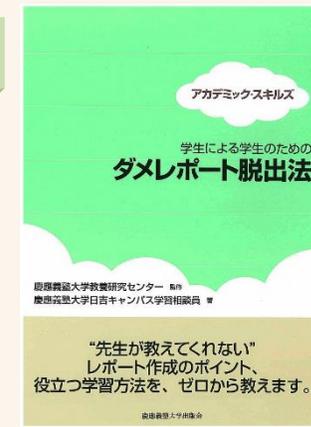


『論文・レポートの基本』

石黒圭著 日本実業出版社 2012年

#### 正確な表記～明晰な文章展開 第11～15章 p.92-188

レポートや論文において使うべき表現や文体がとても詳しくしっかり説明されています。これから一生役に立つ文章の決まりを学べます。文章を書くことに自信がない方はぜひ読んでみてください。



『学生による学生のためのダメレポート脱出法』

慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員著  
慶應義塾大学出版会 2014年

#### 3 ダメレポートを改稿する 第二部 発展編 p.131-148

ダメな実例のダメポイントが具体的に指摘されています。書き直し例があるので、実践的にレポートの書き方が学べます。



電子ブックもあります。  
詳しくはスライド13へ。



# STEP3 執筆

## レポート作成の手順

### 手順4 形式の整理



#### 注のつけ方・引用の方法



タイトルにあるように、盗作と言われないための引用の方法や出典の示し方などが丁寧に説明されています。薄くて気軽に読めますが、中身は濃いです。



#### VI 注のつけ方・引用の仕方 p.108-121

注番号を付け方や、ホームページを参照した場合の注の書き方など、各種具体例が示されています。

#### 最終チェック項目



#### 第9課2 チェックリスト p.95-97

提出する前に確認すべきチェックリストが掲載されています。せっかく頑張って書き上げたレポートをちゃんと評価してもらうためにも、最終確認は重要です。

#### 『コピペと言われないレポートの書き方教室』

山口裕之著 新曜社 2013年



電子ブックもあります。詳しくはスライド13へ。



#### 『大学生の文章術』

旺文社編 旺文社 2015年

#### 『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』

近藤裕子, 由井恭子, 春日美穂著 ひつじ書房 2019年

# 電子ブックについて 1



## 資料紹介

電子ブックとは、タブレットPCやスマートフォンなどの携帯端末、パソコンで読むことのできるデジタルデータ化された書籍のことです。紹介した資料の中には、電子ブックで読めるものがあります。

### 利用方法

#### 学内から



蔵書検索に資料のタイトルを入力して「検索」をクリックします。

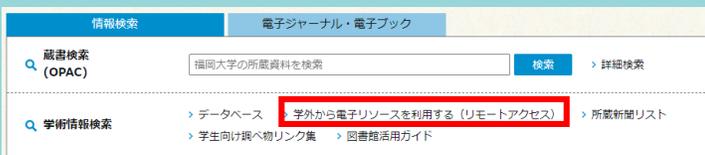


電子ブックの表記を確認して、タイトルをクリックします。



URLをクリックします。

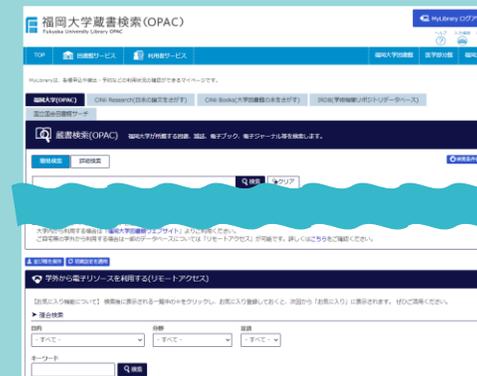
#### 学外から



「学外から電子リソースを利用する(リモートアクセス)」をクリックします。



「ログインはこちら」をクリックして福大IDとパスワードを入力します。



下にスクロールします。



### 利用方法（前頁のつづき）

学外から電子リソースを利用する(リモートアクセス)

【お気に入り機能について】 検索後に表示される一覧中の☆をクリックし、お気に入り登録しておく、次回から「お気に入り」に表示されます。ぜひご利用ください。

▶ 複合検索

目的	分野	言語
- すべて -	- すべて -	- すべて -

キーワード

maruzen

「学外から電子リソースを利用する」の「キーワード」に「maruzen」と入力して検索します。

Maruzen eBook Library

インターネット 福大ID認証 同時アクセス数：1-3 詳細

目的	図書を探す	言語	日本語
分野	総合 / 人文科学 / 社会科学 / 自然科学		
内容	福岡大学が購入済みの電子ブックを閲覧することができる電子ブックプラットフォーム。		
関連リンク	<a href="https://elib.maruzen.co.jp/app/eguide/mel_manual.pdf">https://elib.maruzen.co.jp/app/eguide/mel_manual.pdf</a>		

「Maruzen ebook Library」をクリックします。  
検索画面が出たら、キーワードボックスにタイトルを入力して検索します。

読みたいタイトルの「閲覧」ボタンをクリックすると全文が読めます。「印刷/保存」ボタンからダウンロードして印刷できるものもあります。手元に置いておきたい場合は必要個所をダウンロードもしくは印刷しておきましょう。

[Maruzen eBook Library](#)>ご利用案内

### レポート作成に関する電子ブック

[学生による学生のためのダメレポート脱出法 \(アカデミック・スキルズ\)](#)

[レポート・論文の書き方入門 第4版](#)

[コピペと言われないレポートの書き方教室 —3つのステップ：コピペから正しい引用へ—](#)

[大学1年生のための伝わるレポートの書き方](#)

# 展示資料リスト 1



## 資料紹介

タイトル	請求記号
<a href="#">大学生の論文執筆法 / 石原千秋著</a>	080/C44/600
<a href="#">就活生のための作文・プレゼン術 / 小笠原喜康著。</a>	080/C44/872
<a href="#">東大入試に学ぶロジカルライティング / 吉岡友治著</a>	080/C44/908
<a href="#">理科系の作文技術 / 木下是雄著。 -- [改版]。</a>	080/C64/624
<a href="#">実践 自分で調べる技術 / 宮内泰介, 上田昌文著。</a>	080/I95-1/4-1853
<a href="#">グラフの表現術 : レポート・プレゼンに強くなる / 山本義郎著。</a>	080/K019-1/1773
<a href="#">大学生のためのレポート・論文術 / 小笠原喜康著。 -- 最新版</a>	080/K019-1/2498
<a href="#">中高生からの論文入門 / 小笠原喜康, 片岡則夫著</a>	080/K019-1/2511
<a href="#">理系のための「即効!」卒業論文術 : この通りに書けば卒論ができあがる / 中田亨著。</a>	408/B94/1666
<a href="#">大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法 / 松本茂, 河野哲也著。</a>	002.7/MA81/1
<a href="#">文献調査法 : 調査・レポート・論文作成必携 : 情報リテラシー読本 / 毛利和弘著 ; DBジャパン編。 -- 第9版</a>	015.2/M045/6
<a href="#">心理学レポート・論文の書き方 : 演習課題から卒論まで / 板口典弘, 山本健太郎著。</a>	140.7/I86/1

タイトル	請求記号
<a href="#">心理学論文の書き方 : 卒業論文や修士論文を書くために / 松井豊著。 -- 3訂版。</a>	140.7/MA77/3
<a href="#">学術論文の読み方・まとめ方 : 心理学を学ぶ人のために / 三井宏隆著。</a>	140.7/MI64/2
<a href="#">歴史情報学の教科書 : 歴史のデータが世界をひらく / 後藤真, 橋本雄太編。</a>	207/G72/1
<a href="#">歴史学で卒業論文を書くために / 村上紀夫著。</a>	207/MU43/1
<a href="#">日本中世史入門 : 論文を書こう / 秋山哲雄, 田中大喜, 野口華世編。</a>	210.4/A38/1
<a href="#">社会科学系論文の書き方 / 明石芳彦著。</a>	307/A32/1
<a href="#">新たな法学の基礎教育 : 論理的に読み・書き・議論するための基本 / 福澤一吉編著 ; 花本広志, 廣澤努, 宮城哲著。</a>	321/F85/1
<a href="#">学び合い、発信する技術 : アカデミックスキルの基礎 / 林直亨著。</a>	377.15/H48-2/1
<a href="#">論文の書き方マニュアル : ステップ式リサーチ戦略のすすめ / 花井等, 若松篤著。 -- 新版</a>	816.5/H27/2
<a href="#">論文作成デザイン : テーマの発見から研究の構築へ / 細川英雄著。</a>	816.5/H94/1
<a href="#">思考を鍛えるレポート・論文作成法 = Developing critical thinking to write papers / 井下千以子著。</a>	816.5/I56-1/2
<a href="#">論文・レポートの基本 : この1冊できちんと書ける! / 石黒圭著</a>	816.5/I73/1

7~11ページで紹介した資料の他にもレポートの書き方に関する資料はたくさんあります。自分のニーズに合った資料を探して活用しましょう。

# 展示資料リスト 2



## 資料紹介

タイトル	請求記号
<a href="#">レポート・論文・プレゼンスキルズ：レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション / 石坂春秋著.</a>	816.5/I84/1
<a href="#">はじめてのレポート：レポート作成のための55のステップ / 伊藤義之著</a>	816.5/I89/1
<a href="#">チャートで組み立てるレポート作成法 / 加納寛子著.</a>	816.5/KA58/1
<a href="#">大学1年生の君が、はじめてレポートを書くまで。 / 川崎昌平著.</a>	816.5/KA97/1
<a href="#">論文・プレゼンの科学：読ませる論文・卒論聴かせるプレゼン伝わる英語の公式 / 河田聡著.</a>	816.5/KA98/1
<a href="#">失敗から学ぶ大学生のレポート作成法 / 近藤裕子, 由井恭子, 春日美穂著.</a>	816.5/K073/1
<a href="#">大学生の文章術：レポート・論文の書き方 / 旺文社編.</a>	816.5/014/1
<a href="#">レポート・論文の教科書：5日で学べて一生使える! / 小川仁志著.</a>	816.5/024/1
<a href="#">読みやすく考えて調べて書く：小論文から卒論まで / 奥田統己〔ほか〕著. -- 第2版.</a>	816.5/054-1/2
<a href="#">大学1年生のためのレポート・論文作成法：書く意義に気づく15回のライティング講義 / 大峰光博, 奥本正編集. -- 第2版.</a>	816.5/062-1/2
<a href="#">レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド：大学生・大学院生のための自己点検法29 / 佐渡島紗織, 坂本麻裕子, 大野真澄編著.</a>	816.5/SA13/2
<a href="#">大学生のためのレポートの書き方：課題に応える卒論に活かせる / 佐渡島紗織〔ほか〕著.</a>	816.5/SA13/5

タイトル	請求記号
<a href="#">伝わる!ロジカル文章術：レポートの質を極める / 酒井浩二著.</a>	816.5/SA29-1/2
<a href="#">文章作法入門 / 為田英一郎, 吉田健正著. -- ナカニシヤ出版.</a>	816.5/TA81/1
<a href="#">論文の教室：レポートから卒論まで / 戸田山和久著. -- 最新版.</a>	816.5/T017/3
<a href="#">大学1年生のための伝わるレポートの書き方 / 都筑学著.</a>	816.5/TS99/1
<a href="#">あなたの文章が劇的に変わる5つの方法 / 尾藤克之著.</a>	816/B48/1
<a href="#">ライティングの哲学：書けない悩みのための執筆論 / 千葉雅也〔ほか〕著.</a>	816/C42/1
<a href="#">大学生のための文章表現&amp;口頭発表練習帳 / 銅直信子, 坂東実子著. -- 改訂版.</a>	816/D81/1
<a href="#">よくわかる文章表現の技術 / 石黒圭著；1, 2. -- 新版.</a>	816/I73/3-1
<a href="#">マジ文章書けないんだけど：朝日新聞ベテラン校閲記者が教える一生モノの文章術 / 前田安正著.</a>	816/MA26-1/1
<a href="#">迷わず書ける記者式文章術：プロが実践する4つのパターン / 松林薫著. -- 慶應義塾大学出版会.</a>	816/MA73/1
<a href="#">わかる!伝わる!文章力：実践力養成：小論文・レポート虎の巻 / 佐藤佳弘著.</a>	816/SA85-2/1
<a href="#">文章がフツーにうまくなるとっておきのことば術 / 関根健一著</a>	816/SE36/1

# 展示資料リスト 3



タイトル	請求記号
<a href="#">大学一年生の文章作法 / 山本幸司著. -- 岩波書店.</a>	816/Y31-3/1
<a href="#">レポート・卒論の攻略ガイドブック / 小野俊太郎著 ; 英米文学編.</a>	930.7/067/1-1
<a href="#">法学ライティング / 木山泰嗣著. -- 弘文堂.</a>	320.7/KI84/2
<a href="#">マンガ・アニメで論文・レポートを書く : 「好き」を学問にする方法 / 山田奨治編著.</a>	726.101/Y19/1
<a href="#">学生のレポート・論文作成トレーニング : スキルを学ぶ21のワーク / 桑田てるみ編 ; 桑田てるみほか執筆. -- 改訂版.</a>	816.5/KU98/1
<a href="#">大学生のための論文・レポートの論理的な書き方 / 渡邊淳子著.</a>	816.5/W46-1/1